

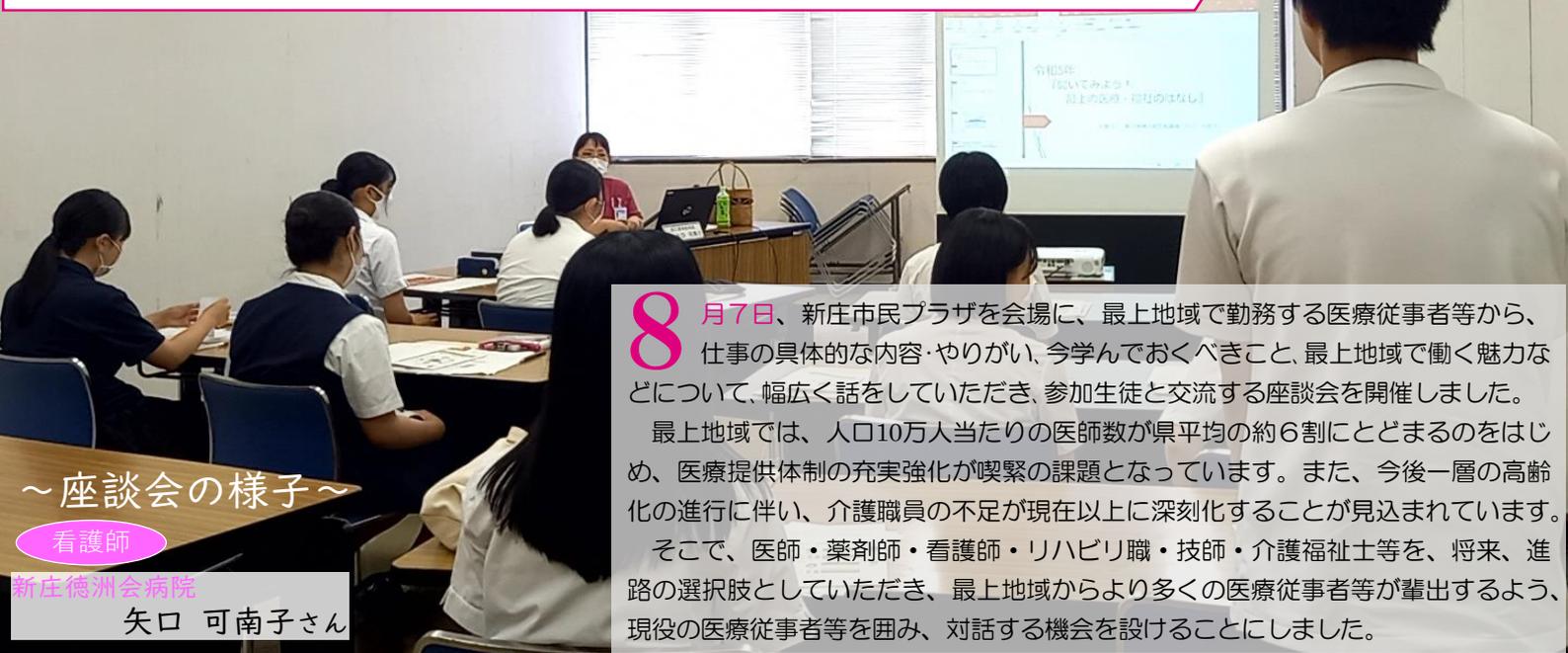


「もがみ仕事の魅力通信」とは、最上総合支庁と企業等が連携して行う最上地域の人材育成・地元定着に向けた取組みをお知らせする通信です。

高校生の放立つ前に学ぼう！

学校では学べない、卒業前に学んでおきたいヒト、モノ、コトを地域の大人と学ぶ講座

聞いてみよう！ 最上の医療・福祉のはなし



～座談会の様子～

看護師
新庄徳洲会病院
矢口 可南子さん

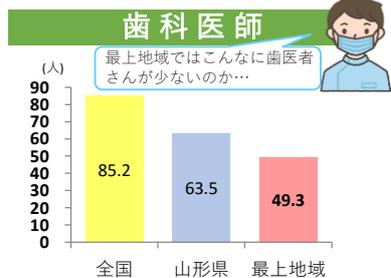
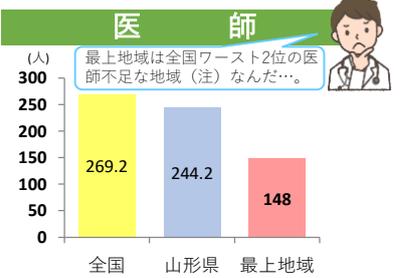
8月7日、新庄市民プラザを会場に、最上地域で勤務する医療従事者等から、仕事の具体的な内容・やりがい、今学んでおくべきこと、最上地域で働く魅力などについて、幅広く話をさせていただき、参加生徒と交流する座談会を開催しました。

最上地域では、人口10万人当たりの医師数が県平均の約6割にとどまるのをはじめ、医療提供体制の充実強化が喫緊の課題となっています。また、今後一層の高齢化の進行に伴い、介護職員の不足が現在以上に深刻化することが見込まれています。

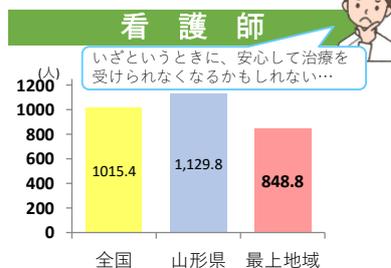
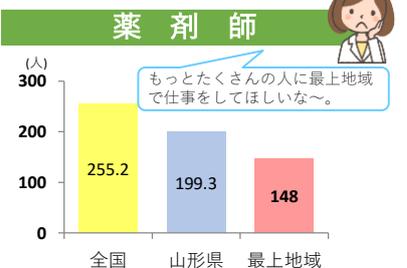
そこで、医師・薬剤師・看護師・リハビリ職・技師・介護福祉士等を、将来、進路の選択肢としていただき、最上地域からより多くの医療従事者等が輩出するよう、現役の医療従事者等を囲み、対話する機会を設けることにしました。

医師・歯科医師・薬剤師・看護師の人数

(人口10万人あたりの人数)



(注) 医師偏在指標 (人口10万人あたりの医師数に加え、医師の年齢や地域の人口構造等の要素を考慮した客観的指標) が、最上地域は全国335二次医療圏中334位。(平成28年の数値に基づく。)



※棒グラフは令和2年時点の人口10万人あたりの人数。
※資料：厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」、衛生行政報告例」、山形県調べ(令和2年)

参加した生徒の感想

- 最上の医療の課題や看護に必要な力を学ぶことができた。将来に役立てていこうと思う。
- 専門看護師と認定看護師の違いや、今求められている看護師について知ることができた。
- 作業療法士として様々な現場で仕事することができたり、働きがいについて詳しく知ることができた。今後の進路選択に活かしたい。
- 普段聞くことのできない、実際に働いている方のお話が聞けてよかった。
- さらに最上で医療従事者として働きたいという思いが強くなった。
- 地元や近いところで働いて地域の力になりたい。
- やりがいや看護をする意味等を聞いて今までよりさらに全力で目指していきたい。やれることは、高校生の今から行動していきたい。
- 患者さんや同じ職場の方々など様々な人と関わろうえてコミュニケーション能力や話を聞く力などが大切だ。
- 今までの薬剤師のイメージが払拭されてとても参考になった。
- 仕事内容やどのようなことをしているのか、その職について詳しく知れて今までより興味が湧いた。





最上の暮らしを守る最前線!

医療現場見学会 in

医療法人徳洲会
新庄徳洲会病院

8月8日、9日、医療職を志望する最上管内の高校生を対象とした医療現場の見学会を新庄徳洲会病院で開催しました。

看護師や理学療法士、臨床検査技師等に興味を持つ生徒が、外来やリハビリテーション室等の院内見学後、医療従事者と懇談しました。参加者からは、「めったに見れない救急の現場を見学できて勉強になった。」、「自分の長所を生かして仕事をしている様子を見ることができて勉強になった。」、「好きでこの仕事をされているんだと、愛を感じられて真剣さまで参考になった。」などの声があげられました。

医療現場の緊張感や仕事の重要性を認識し、将来的に最上地域からより多くの医療従事者を輩出するよう、取り組んでまいります。



懇談・質疑応答の様子

参加した生徒の感想

- いつもは見られない職業の裏側や、何をやっているのかなどの**知りたかったことを学べた。**
- 患者さんと関わるうえで「やさしさ」が**重要**であることを知れた。
- 働いている方がとてもキラキラしていていい勉強になった。
- 実際に医療従事者の方が仕事している現場や様子、患者さんに接する姿を見て、医療の中でも、どの職種を目指すか悩んでいる自分にとって**参考になった。**
- 地方に貢献できる医療従事者になりたい。
- たくさんの方と触れあって**自分をスキルアップ**させたい。
- とても楽しかったし、滅多に入れないところまで見学できたので、もっと**医療の職に興味を持った。**わくわくするような体験をさせて頂けてありがたく感じた。
- さらに興味が持てたので、これから**医療従事者となる進路に向かって頑張ろう**と思った。
- 自分が目指す救急の現場に入り、**モチベーションが上がった。**将来的に**地域に貢献**できるナースとして還元できればと思う。
- 患者さんがこんなに笑顔で過ごせているのは医療従事者のサポートがあってこそだと思う。そういう姿を実際に見学したり話を聞いたことは進路を決めていく中で**すごく勉強になった。**
- 丁寧な説明や私たちがわかりやすいように機械を実際に見せてくれたり、**理解しやすい言葉**で話してくれたり、いろいろな工夫してくれたおかげで、**たくさん知識を身につけることができた。**
- コミュニケーション力があるだけでも**患者さんを笑顔に**することができると思った。



リハビリテーション室の様子



救急外来の様子



透折室の様子



【問い合わせ先】 発行日：令和5年8月

山形県最上総合支庁 保健福祉環境部(最上保健所)

保健企画課 ☎ 0233-29-1257 📠 0233-22-2025

✉ ymogamihoken@pref.yamagata.jp

サイトにアクセスすると最上地域の企業やイベント情報等が確認できます。

是非、確認してみてください!

最上地域の
暮らしとさがと

